

岩手労働局発表
平成26年9月9日

【照会先】
岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 安倍 賢
主任安全専門官 村井 雄亮
(電話) 019-604-3007

平成26年(8月まで)の労働災害発生状況(速報値)

~ 本年8月までの労働災害による死傷者数は、前年同期比7人(0.8%)増加~
~ 同死亡者数は、前年同期比10人増加~

岩手労働局(局長 弓 信幸)は、平成26年8月までの県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況(速報値)を取りまとめました。

平成26年8月までの死傷者数は前年同期比で7人(0.8%)の増加となっています。また、死亡者数は20人となっており、前年同期比で10人増加となっています。

岩手労働局では死亡労働災害が増加していることから、9月9日(火)に「**死亡労働災害防止推進会議(第2回)**」を開催(別添)し、関係団体の長に対し労働災害防止の徹底に向けた協力要請を行うとともに、関係行政機関・災害防止団体との連携を図り、引き続きパトロールの実施等の取組を実施することとしています。

(業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。)

1 死傷災害(休業4日以上) 【表1】【グラフ1】

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は850人(速報値)で、前年同期比で7人(0.8%)増加となっています。

(2) 業種別の状況

前年同期比で増加した業種は増加数が多い順に、建設業176人(前年同期比+12人、7.3%)、製造業181人(同+11人、6.5%)、運輸交通業95人(同+8人、9.2%)、その他の業種98人(同+7人、7.7%)、保健衛生業57人(同+1人、1.8%)となっています。

前年同期比で減少した業種は減少数が多い順に、商業109人(同-9人、-7.6%)、通信業23人(同-8人、-25.8%)、農林業43人(同-5人、-10.4%)、接客娯楽業37人(同-5人、-11.9%)、畜産水産業26人(同-3人、-10.3%)、貨物取扱業0人(同-2人、-100.0%)となっています。

(3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、191人(22.5%)となっています。次いで、「墜落・転落」によるものが、166人(19.5%)、「はさまれ、巻き込まれ」93人(10.9%)の順となっています。

2 死亡災害 【表2、表3】

(1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は20人(速報値)で、前年同期比で10人増加となっています。

(2) 業種別の状況

業種別では建設業が8人と最も多く、商業が4人、その他の業種(清掃・と畜業、ビルメンテナンス業、教育・研究業、その他の事業、各1人)が4人、運輸交通業及び製造業が各2人となっています。

(3) 事故の型別状況

「墜落・転落」が7人、「交通事故(道路)」が5人、「激突され」と「はさまれ、巻き込まれ」が各2人、「崩壊・倒壊」と「感電」が各1人となっています。

業 種		岩手局				盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
		26年	25年	増減数	増減率								
製造業	食料品	21	10	11	110.0%		5	7			6	3	
	上記以外の食料品	44 (2)	47	-3	-6.4%	20	2		7	6	2	7	
	繊維・衣服その他繊維製品	8	4	4	100.0%	1			2	4		1	
	木材・木製品、家具・装備品	28 (1)	34 (1)	-6	-17.6%	3	7	2	6	1	3	6	
	パルプ・紙、印刷・製本	6	8	-2	-25.0%				3	3			
	化学工業	6	9 (1)	-3	-33.3%	1		3	1	1			
	窯業土石製品	11	8	3	37.5%		3	2	3	2		1	
	鉄鋼業、非鉄金属	10	7	3	42.9%	3			5	2			
	金属製品	16	13	3	23.1%	2		1	4	7	1	1	
	一般機械器具	9 (1)	9	0	0.0%	1	1	1	6				
	電気機械器具	5	7	-2	-28.6%	1	1		1	1		1	
	輸送用機械製造	6	5	1	20.0%			1	4		1		
	電気・ガス	0	0	0									
	その他の製造業	11	9	2	22.2%	4			4	2		1	
小計	181 (4)	170 (2)	11	6.5%	36	19	17	46	29	13	21		
鉱業		5	5	0	0.0%				2		1	2	
建設業	土木工事	54 (3)	47 (9)	7	14.9%	12	13	3	7	5	10	4	
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	15 (5)	24 (5)	-9	-37.5%	2	2	2	3		3	3
		木造家屋	48	43	5	11.6%	14	4	6	6	10	5	3
	その他の建築工事	29 (2)	28	1	3.6%	12			9	3		5	
	その他の建設	30 (10)	22	8	36.4%	9	3		3	8	6	1	
小計	176 (20)	164 (14)	12	7.3%	49	22	11	28	26	24	16		
運輸交通業	道路貨物運送業	78 (6)	75 (6)	3	4.0%	31	5	2	26	7	2	5	
	その他の運輸交通業	17	12	5	41.7%	13			3	1			
貨物取扱	貨物取扱	0	2	-2	-100.0%								
農林業	農業	6 (1)	9	-3	-33.3%	1	1		4				
	林業	37	39	-2	-5.1%	12	5	3	2	3	5	7	
畜産水産業	畜産業	21	23	-2	-8.7%	5	1	1	8		2	4	
	水産業	5	6	-1	-16.7%		2	1			1	1	
商業	小売業	80 (14)	97 (8)	-17	-17.5%	36	8	2	17	6	2	9	
	その他の商業	29	21 (5)	8	38.1%	17	2		8		1	1	
通信業		23 (11)	31 (18)	-8	-25.8%	7		2	6	7		1	
保健衛生業	社会福祉施設	48 (6)	42 (3)	6	14.3%	11	4	6	16	7		4	
	その他の保健衛生業	9	14	-5	-35.7%	4			2	3			
接客娯楽業	旅館業	9 (1)	17	-8	-47.1%	4	1		2	2			
	飲食店	22 (1)	16	6	37.5%	12	1	1	1	5	2		
	その他の接客娯楽業	6 (1)	9	-3	-33.3%	3			2	1			
その他	ビルメンテナンス業	22 (3)	14	8	57.1%	17		1	2	2			
	その他（上記以外の業種）	76 (6)	77 (11)	-1	-1.3%	22	7	4	14	13	8	8	
合計	850 (74)	843 (67)	7	0.8%	280	78	51	189	112	61	79		
(注)平成26年8月末の速報値である。					前年同期	284	57	55	191	101	65	90	
数字は死者数（内数）、（ ）数字は交通労働災害（内数）である。					増減数	-4	21	-4	-2	11	-4	-11	
					増減率	-1.4%	36.8%	-7.3%	-1.0%	10.9%	-6.2%	-12.2%	

【表2】

平成26年 死亡災害発生状況(9月2日 現在)

岩手労働局

番号	署別	業種	発生 月日	曜 日	性 別	年 齢	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
1	花巻	商業	1月9日	木	女	79	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	新聞配達中に道路を横断していたところ、軽貨物自動車に轢かれた。	
2	釜石	建設業 (土木工事業)	1月13日	月	男	55	墜落、転落	掘削用機械	ドラグ・ショベルで約1mの高さに積みあがった伐採材の上を走行したところ、ドラグ・ショベルのバランスが崩れ横転しそうになったため、ドラグ・ショベルから飛び降り(転落)、横転したドラグ・ショベルの下敷きになった。	国
3	盛岡	商業	1月18日	土	男	23	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	自動車で行中、凍結路面でスリップしセンターラインをはみ出し、バスと正面衝突した。	
4	盛岡	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	1月25日	土	男	21	はさまれ・ 巻き込まれ	トラック	トラックの後進誘導を行っていたところ、電柱とトラックの間にはさまれた。	
5	宮古	清掃・と畜業	1月27日	月	男	62	墜落、転落	トラック	ゴミ収集用のトラックの荷台に労働者が乗ったまま走行中、労働者が荷台から道路に転落した。	
6	盛岡	商業	1月29日	水	男	37	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	自動車で行中、凍結路面でスリップしセンターラインをはみ出し、対向車と正面衝突した。	
7	宮古	建設業 (建築工事業)	2月8日	土	男	64	墜落、転落	はしご等	新築工事現場において、2階に置いてあった保護帽及び工具袋を取りに行くため、高さ2.7mの脚立を上っていたところ、脚立から転落した。	民間
8	盛岡	ビルメンテナンス業	2月11日	火	男	27	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	軽ワゴン車で走行中、圧雪状態でスリップし、対向車と正面衝突した。	
9	盛岡	建設業 (道路建設工事業)	2月27日	木	男	62	激突され	掘削用機械	道路整備工事現場において砂利を敷き均す作業をしていたところ、バックしてきたドラグ・ショベルに轢かれた。	地方公
10	花巻	製造業 (機械器具製造業)	2月28日	金	男	40	激突され	旋盤	加工材を手で保持して旋盤作業を行っていたところ、保持していた加工材が激突した。	
11	一関	教育・研究業 (その他の教育研究業)	3月12日	水	男	67	墜落、転落	はしご等	ビニールハウスにビニールシートを貼り付ける作業中、高さ3mの三脚脚立から墜落した。	
12	盛岡	商業 (燃料小売業)	3月13日	木	男	53	墜落、転落	整地・運搬・ 積込用機械	トラクターショベルで除雪作業中、トラクターショベルごと用水路に転落しトラクターショベルの下敷きになった。	

番号	署別	業種	発 生 月 日	曜 日	性 別	年 齢	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
13	宮古	建設業 (電気通信工事業)	4月30日	水	男	66	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク	自動車で走行中、運転を誤り自動車が道路左側の河川に転落し、同乗していた労働者が死亡した。	
14	大船渡	建設業 (その他の土木工事業)	5月8日	木	男	64	はさまれ・巻き込まれ	トラック	ダンプトラックの荷台を上げ整備作業を行っていたところ、ダンプトラックの荷台と車体フレームの間に体をはさまれた。	地方公
15	宮古	その他の事業 (その他の事業 - その他)	5月29日	木	男	61	崩壊・倒壊	その他の仮設物、建築物、構築物等	海上(漁港内)のボーリング用櫓(やぐら)の足場で労働者3人が測量の作業を行っていたところ、櫓が倒壊したため同3人が海に落ち1人が溺死した。	
16	花巻	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業)	7月5日	土	男	62	墜落、転落	足場	型枠の洗浄作業終了後、高さ1.8mの足場から前向きに墜落し、腹部を強打した。	民間
17	盛岡	建設業 (電気通信工事業)	7月31日	木	男	55	感電	電力設備	動力電源のルート変更工事において、配電盤のブレーカー端子を取り換えるため、ケーブルカッターでブレーカーの活線(200V、225A)の切断作業を行っていたところ、感電した。	民間
18	釜石	製造業 (造船業)	8月4日	月	男	59	墜落、転落	作業床、歩み板	船の外周に組み立てられた、わく組足場の解体作業中、高さ7.2mの作業床から墜落した。	
19	花巻	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	8月4日	月	男	43	飛来、落下	クレーン	木材(60×60×670cm、重さ1.8t)をクレーンで吊上げトラックに積み込む作業中、吊上げた木材が並べて置いてあった木材に接触し、その木材が崩れ落ちたため、崩れた木材とトラックの荷台に挟まれた。	
20	宮古	建設業 (道路建設工事業)	8月30日	土	男	58	激突	整地・運搬・積込用機械	ブルドーザーで押土作業中、ブルドーザーの運転席から転落し、ブルドーザーの履帯に左側腹部を強打した。	地方公
21	大船渡	漁業	9月1日	月	男	33	激突され	揚貨装置	定置網に錨ロープ(36mm)を取り付けるため巻きロープ(36mm:錨ロープに取り付けた補助ロープ)をキャプスタンで巻き上げる作業中、海中に錨ロープが絡まっていたことから、錨ロープをクレーンで海上までつり上げたところ、巻きロープが切れ、クレーンのフックが激突した。	

表3

平成26年死亡労働災害発生状況(業種別等の状況) (9月2日現在)

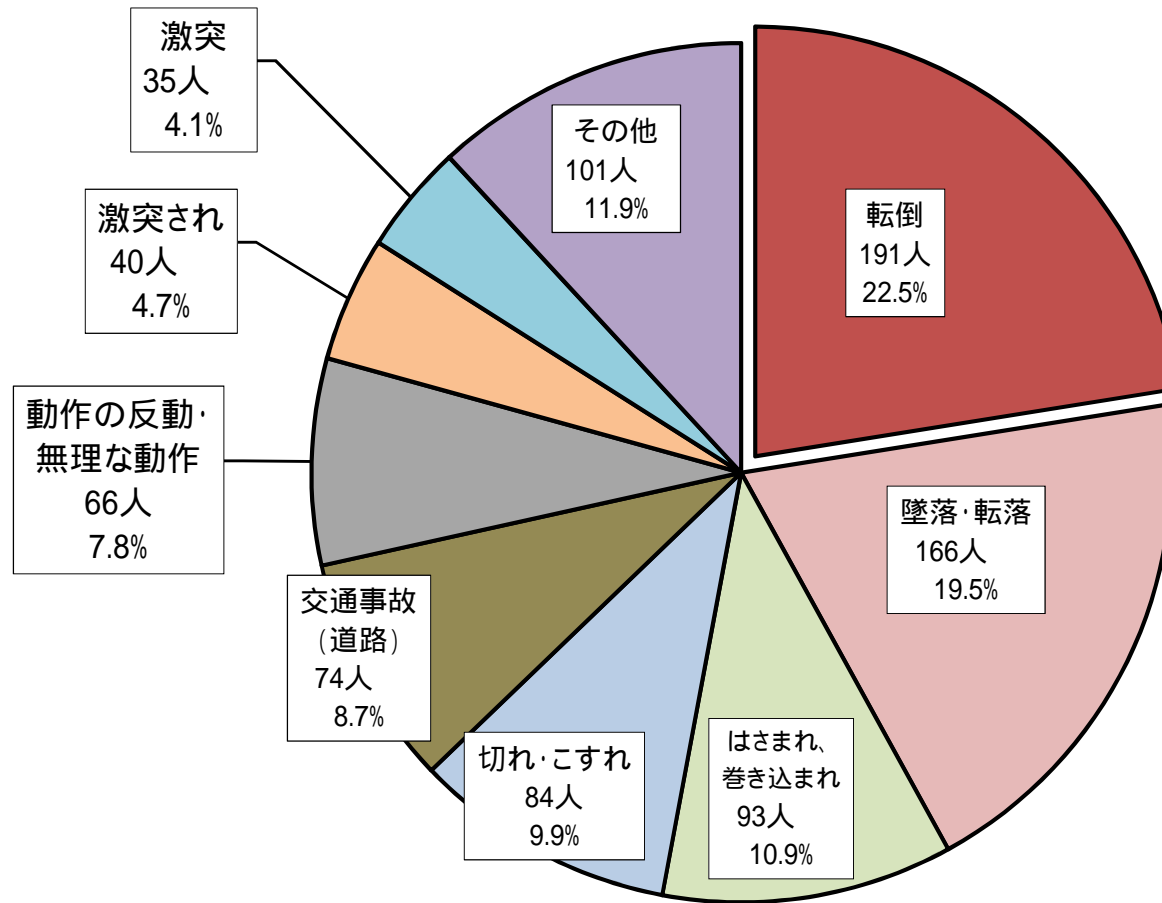
業種別	製造業 2人 (0人)	鉱業 0人 (1人)	建設業 8人 (2人)	運輸業 2人 (0人)	林業 0人 (2人)	商業 4人 (2人)	左記 以外 5人 (3人)	21人 (前年同期10人)
	盛岡 7人 (0人)	宮古 5人 (1人)	釜石 2人 (0人)	花巻 4人 (1人)	一関 1人 (3人)	大船渡 2人 (0人)	二戸 0人 (5人)	
事故の型別	墜落・ 転落 7人 (2人)	転倒 0人 (0人)	飛来・ 落下 1人 (2人)	崩壊・ 倒壊 1人 (0人)	激突 され 3人 (3人)	はさまれ・ 巻き込まれ 2人 (1人)	切れ・ こすれ 0人 (0人)	
	おぼれ 0人 (0人)	高温の物 との接触 0人 (0人)	激突 1人 (0人)	感電 1人 (0人)	破裂 0人 (1人)	交通事故 5人 (1人)	その他 0人 (0人)	

注：()内は前年同期

【グラフ1】

平成26年(1～8月)労働災害発生状況(事故の型別)

岩手労働局



平成26年8月末の速報値である。
数字は死亡者数(内数)である。

岩手労働局発表
平成26年9月5日

【照会先】
岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 安倍 賢
主任安全専門官 村井 雄亮
(電話) 019-604-3007

『死亡労働災害防止推進会議(第2回)』の開催について

主要労働災害防止団体、岩手経済4団体、連合岩手と標記推進会議(第2回)」を開催
～「死亡労働災害防止強化期間」中の取組報告及び労働災害防止対策の徹底に向けた協力量
要請～

岩手労働局(局長 弓 信幸)は、平成26年3月末までに、県内の労働災害による死亡者数が12人と前年同期比で9人もの増加となっている状況を踏まえ、主要労働災害防止関係団体、岩手経済4団体及び連合岩手(合計13団体)に呼びかけ、4月18日に「死亡労働災害防止推進会議」を開催の上、「死亡労働災害防止強化期間(5月～7月末)」を設定し、これら団体などと協力して、死亡労働災害防止の取組を推進してきました。

しかしながら、県内の労働災害による死亡者数は、同強化期間中の3か月間に4人(5月2人、7月2人)、同強化期間終了後の8月の1か月間では3人と増加傾向に歯止めがかからない状況です。

このため、下記により「死亡労働災害防止推進会議(第2回)」を開催し、
労働災害の発生状況に関する報告
「死亡労働災害防止強化期間」の各団体における取組の紹介
労働災害防止の徹底に関する要請など
を行う予定です。

記

1日時 平成26年9月9日(火) 13:30～14:30(予定)

2場所 盛岡第2合同庁舎 3階共用会議室 (盛岡市盛岡駅西通1-9-15)

(裏面に続く。)

3 出席予定 13 団体 公益財団法人岩手労働基準協会
建設業労働災害防止協会岩手県支部
陸上貨物運送事業労働災害防止協会岩手県支部
林業・木材製造業労働災害防止協会岩手県支部
港湾貨物運送事業労働災害防止協会岩手支部
一般社団法人日本砕石協会岩手県支部
公益社団法人ボイラ・クレーン安全協会岩手事務所
岩手県木造家屋等低層住宅建築工事安全対策協議会
一般社団法人岩手県経営者協会
岩手県中小企業団体中央会
岩手県商工会議所連合会
岩手県商工会連合会
日本労働組合総連合会岩手県連合会